



源田 結佳さん(中央区・18歳)



熊谷 久美恵さん(盛岡市・4歳)



赤阪 真彦くん(白井・9歳)



新屋 吉将くん(黒崎・13歳)



昌山 彩愛さん(盛岡市・11歳)



元木沢 菜那さん(久慈市・9歳)



道上 真奈さん(緑区・11歳)

**私**がこの本を読んで、まず思ったことは、

心臓病の明美さんが、重い病気にも弱音をはかずにがんばっていたことでした。本当に心からすごいことだと思いました。

私も、ぜん息で、時々苦しくなります。三年生ぐらゐまでは、病気を理由によく母にあまえていました。

一年ほど前、そんな私を母は、「あなたは、ぜん息を味方にまわしているよ」としかりました。この本に出会うまで私は、母が言った言葉の意味が分かりませんでした。

それまでの私は、ぜん息を治したいあまりに一度にたくさん薬を飲んでしま



★ 小学校高学年の部  
「四十本のカーネーションに  
つつまれて」を読んで  
鳥茂渡小学校五年 金子 望さん

ったり、苦しくなるのがいやで運動をさけたりしていいのです。病院へ行くときは、「学校が休めていいなあ」と思ったこともありま

私には、この本を読み、母の言葉は「心から病気を治そう」と、努力していないことに気づかせようとして言っただというところが分

かりました。

明美さんは、重い心臓病のため、十三さいという若さでなくなりました。でも、決して病気に背

♥ 十月号の答え:

- ①—B ②—B

♥ おわび:十八ページ方言クイズ①の問題の中で、「イットモクドウにブックルンで」とありましたが、「イットモクドウにブックルンで」の誤りでした。「ソッコウさ投げヤリグ」の出しは「ソッコウソッコウさ(そちらこちらに)投げヤリグ」となる問題でした。おわびして訂正します。

♥ 応募総数:二十二通で十九人の方が正解でした。次の七人に図書券を送ります。

- ♥ 当選者:①昌山彩愛さん(盛岡市・11歳) ②元木沢菜那さん(久慈市・9歳) ③新屋吉将くん(黒崎・13歳) ④片座佳祐くん(同・11歳) ⑤小正路菜摘さん(同・12歳) ⑥菊池香菜さん(旭日区・7歳) ⑦大友渉くん(堀内・11歳)

を向けずに、力いっぱい生きぬいたのです。友達を大切に、重い心臓病の病気にもかかわらず、いつでも笑顔で友達といっしょに活動したのです。そして明美さんの姿は、たくさんの人に本当の思いやりや感動を残してくれました。

私は、この本から何よりも一番大切な「命」の意味を教えてもらいました。私の姉も今、重い病気にかかっています。

まもなく大きな手術をします。体の中にできた「しこり」という物を取るそうです。しこりは、姉の心臓と肺の間にできていて大変痛いそうです。家族がその身になり代わ

れないのが、本当にくやしいです。父や母は、きっとそれ以上にその思いが強いでしょう。明美さんの家族も同じ気持ちだったと思います。私が今、姉にできることは、手術の成功と病気が早く治ることを祈るだけです。この本を読んで、これから私は、今まで以上に自分の命を大切に、家族を大切に、そして友達を大切に生きていきたいと思

明美さんの姉のがんばり、そして母の言葉をいつまでも心にとどめ、私は力いっぱい生きていきます。 Ⅱ 原文のままⅡ(※望さんは現在六年に進級しています)